



港工同窓会 ニュース

臨時号

平成17年9月30日発行

発行責任者 前田武男

一七年度定期総会を終えて

港工同窓会会計理事
元港工電気科教諭
港三期(全)電力科卒

加藤 琢二

都立六郷工科高等学校に会場を得てから二度目の「港工同窓会定期総会」が六月一日挙行された。

当日は、総会に先立って、資料や会場の準備を理事総出でしたが、資料の大半は、松岡理事に負担をかけた。会場準備は会場校勤務の港工二八期自動車科卒の杉野理事に多大の負担をかけた。杉野先生は、当日会場校で行事があり本当にお忙しかったことと思う。ここに紙面を借りてお礼申し上げる。

総会は、前田会長の挨拶で始まり、六郷工科高校の萩原和夫校長先生の来賓ご挨拶で、「二期生が加わり、生徒数が四〇〇名ほどになった。」と嬉しそうに話された。更に、「本校を会場校とした、物作りコンテスト大会が今日実施される。」と六郷工科校の活動状況を披露された。尚、このコンテストで六郷工科高校二年生生徒が自動車整備部門で見事優勝したことを、私は後日承知した。

議事は、前田会長を議長として、予定どおり進行し、事業報告、決算

報告、役員決定がなされ、前田会長の留任挨拶、新役員紹介も無事終了し、新事業計画、予算案も承認された。

総会は特に討論もなく、予定より大幅に切って終了したのは、賛成より見放されたのかと心配になった。参加予定は、例年とあまり変わらず、九〇余名であったが、やや欠席数が例年を越えていたのが残念だ。

近くの「サンカント・ベル」に会場を移して、懇親会を開催した。やや狭い会場は、会員諸君でいっぱいになった。会は一応盛りあがった。特別会員(旧教職員)は、いつもご出席くださる、明石先生、菅原先生、両角先生、港工四期自動車科卒中井先生、そして私、とやや寂しい。

「これだけの会員を纏めるのは、多くの関係者の目に見えない努力の賜物だ。」と労ってくれた会友の言葉をととても嬉しく感じた。しかし、年々参加者が減少する。これは、わが港工同窓会が置かれた環境に最大の原因があるが会員にも問題があると私は考える。正会員が大勢参加すれば、先生方は懐かしい邂逅をえられる。そしてまた参加する気になれる。先年方がお見えになると、元生徒にとって懐かしい邂逅となり、また参加する気になる。先輩と

後輩の関係も同様で、この相乗効果しか参加者を増加する要因は無からうと思う。

会員諸氏の参加が待たれる。

第2回 六郷祭のお知らせ



日時：平成17年10月29日(土)・30日(日)
場所：東京都立六郷工科高校
京浜急行「雑色」下車国道沿い徒歩3分
左図は本校のイメージキャラクター スキル君

総会、懇親会に参加して

港三期(全)自動車科卒

波多野 稔

今年の総会、懇親会にもクラスメイトはだれも参加せず期待していただけに寂しさを感じた。もともと私もここ二年ほど前から母校懐かしさから参加したのだが。隔年開催するクラス会には常に一五名前後は参加するのに。

幸い私の住む近隣に後輩で同窓会理事の安江氏が居られ、彼からの誘いもあって参加する事になったのだが、彼には公私ともにお世話になっており心強い支えをえたと内心喜んでいる次第です。

さて、総会もつづがなく終了し、近くの懇親会場へ孤独感を抱きながら移動した。

五四年ぶり乍容姿は全くお变りのない明石先生と会話する機会を得た。さらに、全く面識のない後輩の遠藤氏(三七年電通卒) 渡辺氏(三九年機械卒)ら諸君と意気投合し、年齢差など関係なく、それぞれの在学時のできごと、近況等そして将来に対しての取り組みなど、飲み食べ放題のなか、ユーモアを交えながらの楽しい歓談の一時は、私にとつてはとて有意義の時間でした。

懇親会で当初の不安も頼もしい後輩の元気な姿に励まされたお蔭で全く忘れてしまった。

「古稀に想う」

港六期(全)電力科卒 栗原 眞平

私どもは今年から来年にかけて「古希」を迎えます。七〇歳まで生きられることは「古来、稀であった」時代の名残であることは言うまでもありませんが、その人がどのような時代に生きたかによって、その一生も可なり左右される様に思います。無茶な方法かもしれませんが、誕生から成人するまで、無我夢中で働いた時代、退職後の三段階に別けて私たちの過去を振り返ってみました。

物心がついた頃は日本帝国主義の華やかな時代でした。現在の北朝鮮を連想させる言論統制が敷かれ、個人の自由はほとんど認められていないばかりか、迂闊に私見でも述べれば「非国民呼ばわりされたり、特高警察に連行されて拷問を受けることになりました。私どもは学童疎開のため親元から隔離され、下着の中に蚤や虱を飼いながら芋の代用食で育てられました。また、終戦直後の東京は

また来年もあの後輩らとの再会を胸に誓い小雨の降りだした国道沿いを足取りも軽く帰路についた。

極端に食料が不足しておりました。三度の食事の直前に水を飲んで食事の量は少なくとも、満腹感を味わうといった子供ながらの知恵を出したこともありました。我が国自体が過酷な時代だったと思いますし、同年代の人々の平均身長が低いのは、成長期に十分な栄養を摂取出来なかつたことが大きな原因のひとつだと思われまふ。しかし批判力が育成されていない子供だったためでしょうか、現代のように情報化社会ではなかつたためでしょうか、特に不幸だと感じたことはありませんでした。

無我夢中で働いた時代は第二次世界大戦後の復興期で、その上朝鮮戦争の特需があり、人々のなすべき仕事は充分にありました。地方出身の中学卒業生が「金の卵」として重要されました。終身雇用制度のもと極く普通に働いていれば入社年次別にある程度の昇進も受けられました。

産業界は護送船団方式で社会が一律に行動しておりました。労働界は賃金や労働条件を産業界に団体交渉して決めており、ストライキも年中行事のひとつでした。私どもは所謂、高度経済成長時代の担い手でした。

バブルが弾けて社会全体が意気消沈し始める頃、ほとんどの同輩は定年退職を迎えました。リストラの名のもとに賃金カットを受けたり、突然解雇される経験はしなくて済みました。その一方で高度成長期の実績を基礎に計算された年金は相対的に恵まれたものではないでしょうか。趣味や道楽を主体とした昨今の日常生活では、成人並のカロリィは必要ありません。やたら贅沢な食事をとれば生活習慣病を誘発してしまします。質素な生活を営むための生活費に悩むことは無いと幸いです。

この様に回想してみると私どもの年代は総じて恵まれていた様に思われます。しかし、日本人の平均寿命が八〇歳を超える今日、その一生が政治的、経済的、社会的に恵まれ続けていくとは考えられません。どのような事態に遭遇しても、それに対応出来る気力と体力を持ち続ける覚悟と準備が必要だと考えております。

同窓会の返信はがきからの近況

第一〇代校長

村上 五雄

ながら失礼いたします。

同窓会ニュース、ならびに総会案内を有り難く拝見いたしました。六郷工科高校を新拠点として、いろいろな問題を解決しながらご発展を続けていられるご努力に感謝申し上げます。(なお、賛助金をお送りしたいと思っておりますので、振替用紙を送っていただけませんか)

旧(教頭) 定

市川 勝緒

在職中は大変お世話になりました。現在、関東電気保安協会が高圧受電設備の点検業務をやっております。職場の中外で活躍している港工の卒業生との出会いも多く楽しく過ごしております。ご盛会をお祈り致します。

第二二代校長

関 透

幹事の皆様のご努力に敬意を表します。都合で出席出来ませんがご盛会をお祈りいたします。

旧(教頭) 定

三谷 和夫

予定が重なり失礼いたします。定年退職、日大非常勤講師十余年も終了。目下地域の文化活動、地方史研究、著などで多忙。酒は飲めなくなりましたが健康、山登り、旅、短歌(新アララギ)などにてまします、他謝。

旧(教頭) 全

相川 英昭

港工の理事会等が六郷工科高校の校内施設で、港工の時と同じように開催されているとのこと、同窓会役員のご努力の賜です。

貴会のみますますのご発展を心から祈念しています。

旧(教頭) 全

新井田 円二

祈るご盛会を。同窓会のご案内どうもありがとうございます。小生年齢のせいか体力が衰え外出が無理ですので残念

旧(事務長)

小笠原 忠克

同窓会ニュースを送付していただきありがとうございます。六郷工科高校に受継がれた港工の歴史に思いを新たにしました。小学校転用校舎という逆境のなかで野球部が屋上で練習していたことなどを思い出しています。懐かしい思い出です。

旧(電気) 全

小澤 彰

ご案内有難うございます。年を取りすぎて歩行がおぼつかないのので欠席させていただきます。ご出席の皆様によろしくおつたえ下さい。

幹事の皆様のご努力に感謝申し上げます。生憎、夫婦揃っての病院通いのため外出もままなりません。ご盛会をお祈りしております。同窓会費はお申し出下されば納入いたします。

旧(電子) 全

片山 茂

お招き有難うございます。近年、心臓の手術を受け、おまけに腰痛も思っており、欠席させていただきます。心からご盛会をお祈り致します。

旧(電子) 全

三浦 達郎

港工閉校とともに異動となり平成一六年四月より王子工業高校へ勤務しております。実習助手五年、教員とし六年勤務した港工には忘れられない思い出がたくさんつまっております。今後の同窓会のみますますのご発展を祈念しております。

旧(英語) 全

田島 貞雄

お招き有難うございます。近年、心臓の手術を受け、おまけに腰痛も思っており、欠席させていただきます。心からご盛会をお祈り致します。

旧(機械) 定

中井 禅機

折々ご案内を戴き深謝しております。寺を護持の為、突発的な事があり大変失礼を重ねております。諸兄にくれぐれもよろしく。

旧(機械) 全

植松 基

六郷工科高校のご発展をお祈りいたします。私方、昨年より大腸ガン、胃ガンの手術で、只今静養中です。諸大兄のご多幸をお祈りいたします。

旧(社会) 定

藤崎ミヤ子

二〇〇五年三月定年退職いたしました。思えば三八年前、港工(定)でスタートした私の教員生活、それから一八年先輩の先生方にはそれぞれ出席簿の記入の仕方から様々な場面であらゆる事を教えていただきました。また生徒達には私が教えたこと

旧(機械) 全

山崎 隆司

三月をもって定年退職しました。四月より東京工業専門学校嘱託員として、勤務しております。

旧(体育) 全

藤田 泰彦

年のせい毎週二回の病院通いをしてるので、出席出来ず残念です。五月二五日の日にころんで現在は入院治療中です。

より彼らから学んだこと、もらった喜びの方が多かったと思います。懐かしい港工同窓会が「六郷工科高校」にそのまま伝統を引き継いでいただけるよう応援できるといいですね。新しい設備を見せていただく事楽しみにしております。

旧(社会)定 栗田 吉夫

充実した「同窓会ニュース」をありがとうございました。今後、六郷工科高校の生徒さんからも「学園生活」などの寄稿をお願いしたら有意義だと思います。

旧(機械)定 三津田 宏

都合で出席出来ず残念です。卒業生と同僚教職員の皆さんによりしくお伝え下さい。

高輪(一本)七期M 相田 正三

お蔭様で満七五歳のバースデーを迎えることができました。省みると、麻布・高輪・港と母校も大きく発展されて参りました。でも狸穴での麻工時代は懐かしく脳裏にやきついています。

それにひきかえ合併しての高輪時代は・・・？益々の発展を、創る人の育成を“祈ります”。

高輪(一本)一期E 小倉 東太郎

去る五月二七日銀座でクラス会を開きました。同級生四七名の内他界十八名消息不明三名、現存人数二十六名のうち一三名が参集して、昔話しに花がさきました。

麻布(一本)一期E 福留 行則

小生ら麻布第一本科一期生は全員八一才以上となり病人も多く、会合も出来なくなりました。小生も脳梗塞で総会に欠席します。消息のわかつている五～六人の仲間とももう集うことがなくなりました。事情了承ください。会報は送付ください。会費は別送しました。よろしく。

麻布(一本)六期M 土田 勇夫

終戦の年の卒業ですが、当時は戦時短縮で五年生教育が四年生に、その半分は、勤労働員に従事。学力低下のひどい時代でした。ところでその卒業式の記憶が一時全くなくなり(三月一〇日・四月一三日の空襲で二度被災し混乱していた。)戦後友人に卒業アルバムをみせてもらいようやく思い出した次第。しかも卒業式は、前年の一〇月末近くに実施されていた事が解りました。戦後六〇年級会に集まる友も少なくなりました。

港(全)五期E二 畑野 純夫

ご返事遅れ申し訳ありません。級友とも話したのですが、やはり場所学校とも思い出のない所なので。ということになりました。芝パークホテルで開催すれば愛宕にも近いし、母校跡はどうなったのかなど行って見たいと思います。

港(全)七期E二 秋元 弘而

五月二十九日(日曜日)クラス会を伊東で開催。卒業生三〇名の内九名参加予定です。残念乍、山田先生・豊島先生は欠席されます。

港(全)九期C 上倉 健二

同窓会運営のご苦労が「ニュース」から理解する事出来ました。ありがとうございます。

港(全)二期E 伊東 重幸

私にとって四六年ぶりに再開のクラス会に参加予定。(五月二六日)二七期電気科の後輩が職場にいるので事務局(同窓会)の所在、代表者等を教えました。

港(全)二期A 田中 幹夫

平成一七年一月一〇日(月曜日)成人の日に新橋で32Aのクラス会を行いました。

港(全)二期M 小林 保男

現役のラーメン屋。土曜日営業中参加出来ず悪しからず(貧乏ヒマ無し)加藤琢二先生に宜しく。

港(全)三期C 下田 繁夫

五月二七日クラス会を行います。三年前に卒業後四一年ぶりの会も本年は級友が定年を迎え新たな環境の中での出会いになります。

港(全)四期C 杉木 富夫

世話役の皆様ご苦労様です。港工最後の時に出席しましたが、同級生がおらず何か場違いの感じの思いでした。

港(定)五期C 鈴木 靖雄

私共のクラス会は年一回クラス会をかねて一泊旅行を開催しております。今年は五月二一・二二日で、した。皆、初めての同窓会の案内にビックリしていました。

港(全)二期E 畑野 保雄

いつも有難うございます。毎回、同級生に誘われるのですが、なかなか踏ん切りが付きません。社交性がないもので、すみません。ホームペーの開設、期待しています。



港工同窓会

H17.9.5更新

◆ 同 窓 会

年間行事

事務局

役員

会 則



H17年度懇親会より

掲 示 板

◆ 六郷工科高校

アクセス

六郷祭

写 真 集



六郷工科高校

◆ 会員専用

港工同窓会ホームページについて

会員の皆様大変長らくお待たせ致しました。ホームページを9月下旬開設致しました。

会員へのニュース、理事会等の案内を掲載致しますのでご参照下さい。

ホームページを順次更新の予定であります。

更新時に使用する資料、その他、写真、イラスト、絵、短歌、俳句などの趣味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、参加して頂ければ、従来の会報よりもさらに良いものが出来上がるのではないかと考えております。

何か他に提案がございましたらご連絡下さい。

ホームページURL：<http://minatokou.net>

又は：<http://www.minatokou.net>

暗証番号：3710（会員専用ページを開く為）

会員専用ページを開くにはAdobe Readerの無償ソフトをダウンロードして下さい。

二〇〇四年「六六歳」ルート66を駆ける

港八期(全) 機械科卒 赤川秀夫

一九二六年に開通したアメリカのシカゴからカルフォルニアのロサンゼルス迄通じるルート66は起点・終点共にシカゴにありロサンゼルスは折り返し点にすぎないのを今回知りました。

イリノイ州、ミズリー州、カンサス州オクラホマ州、テキサス州、ニューメキシコ州アリゾナ州そしてカルフォルニア州の八州を結ぶ二四四八マイル(約四〇〇〇キロメートル)はマザーロード・メインストリートオブアメリカの愛称で呼ばれ旧の白黒テレビ番組シボレーコンパチブルで、TOBとBUZの若い二人が、途中事件あり、ロマンスありの連続番組を胸ワクワクで見た記憶があります。又、スタインベックの小説で映画化された『怒りのぶどう』を読み、オクラホマの貧農一家や知人のグループが古いトラックを手にいれ、ルート66をカルフォルニアの楽園を目指し移動する物語。

STRIC66と、ADDITION AL66の、時代差のある道で、途中寸断され、亀裂があり、ゴーストタウンあり、人家あり、国道と連結したり標識に注意しながら、道を拾いながら走る様でした。然しルート沿いの人達のボランティアによる手入れには感激しました。

何故ルート66を駆ける事になったのか?

二〇〇三年九月、八五歳になる母を連れ小生六五歳、定年、年金生活に入り、ミネソタ州、セントポール郊外に住んでいる弟家族が、昨年家を増改築したので、元気なうちに遊びに来てとの話があり、母子二人で数年ぶりに出掛け、弟の知人であり元駐日大使のモンデルさんに、文京区根岸の鯛焼きのお土産を持参テレビで彼が駐日大使時にこの鯛焼きファンだった事を知り、渡米前日に焼いてもらい届けたら大喜びでした。

或る日の夕食パーティーの時に次はいつ来るのかとの話が出て、来年

私が六六歳なるのを記念しルート66を走ってみたいとポロリ話をする。皆スツカリその気になり特に二八歳になる姪が、「下準備は自分が全てするので、パパは何もしなくて良い」。一緒に走ろうと大変乗り気。

二五歳になり結婚しシカゴ在住の甥の家を訪ねられるからと、計画GO! その時私の孫も一緒にという事になり、国際免許証と旅行費用を持参し昨年二〇〇四年八月孫と共にミネソタに飛びました。

二〇〇四年八月五日ミネソタからシカゴへ弟・姪・孫と私四人飛行機で移動する。空港でレンタカー(フオードのセダン)を借りるが、結構保険関係の書類チェックが多く煩雑なことが判りました。甥の家に着き夕飯は皆で外食とした。弟は古い友人の家に泊まり私達三人が甥宅に泊まる事になりました。甥の家には白い飼猫が居りその名が『ゴハン』。ご飯は白いのでこの名をつけたとの事。又姪も甥も何回か日本にきている為に安心でした。

翌日は街の見物。ルート66の始点と終点のガイド板の写真撮影と美術館の見学。このスタッフと新しい公園の芝生で昼食会を楽しみました。午後二時頃に左にミシガン湖の大噴水をして、右にリンカーン像を

見ながら国道55号を疾走し、次の目的地LA(ロサンゼルス)に向けて出発する。(これ以降は次号に記載します。)



ロサンゼルス折返し標識



ルート66

◎会員名簿の発行に関して

会員から同窓会名簿発行のご要望が多数ありますが、昨今の情報漏洩問題から当面は全体名簿の発行予定はありません。

母校存続中は同窓会の主要事業として毎年、卒業式の前に五期又は三期分の卒業生及び先生方（現・旧）の名簿を作成し、新入会員へ配布してまいりました。

しかし晩年は卒業式の当日に校門付近で待っていて、卒業生名簿を一冊一万円で買い取ると声をかける名簿業者が現れました。実際に売り渡す例が発生したため、学校から注意を受け、その後、卒業生配布用に住所を空欄の名簿を別途作成したため、費用がほぼ倍になり、困惑したことがあります。

名簿の発行は同窓会の重要事業であり、そのために名簿データは、常時更新しており、住所変更の情報は総会案内返信の他お手紙、ファックス、電話、最近はメールでも載っています。ただし、マスターデータは、オフラインのパソコンで管理し、インターネットには接続しません。オンラインでないため手間はかかりませんが、データの安全を優先しています。

最近個人情報保護法が制定されたこともあり、個人データの取り扱いには慎重な対応が必要と考えています。会員皆様のコンセンサスを得ながら、対処方法を検討したいと存じます。ご意見、ご要望をお待ちしています。

但し、個々のお問い合わせや、クラス毎等の要望については個別に回答又は送付しますので、事務局までご一報下さい。

※港工同窓会があることをご存知無い方が多数います。クラス会等がありましたら、同窓会のPRと、住所資料の送付をお願いします

※港工同窓会があることをご存知無い方が多数います。クラス会等がありましたら、同窓会のPRと、住所資料の送付をお願いします

○会員数の把握状況 平成17年8月現在

区分	在籍数	確認数(亡)
正会員	高輪第1本科	771 97 (69)
	高輪第2本科	768 52 (72)
	麻布第1本科	485 176 (104)
	麻布・定時制	3,866 727 (54)
	麻布・全日制	9,773 4,321 (169)
計	15,663	5,373 (468)
特別会員	現職員	0 (0)
	旧校長	15 7 (8)
	旧職員	626 361 (101)
	計	641 368 (109)

☆クラス会等の開催情報掲示板

- 高輪七期E四 毎年開催
- 麻布三期E 年一回開催九名位
- 麻布六期M 年一〜三回開催
- 港定三期E 毎年一泊旅行
- 港定一〇期M E 合同クラス会を八月予定
- 港定一五期C 年一回一泊旅行 五月二一日
- 港全三期A 二年に一回今秋予定 最近年三回位
- 港全五期E 奥様同伴は会費半額 年一回開催
- 港全七期M 「一五会」継続中 伊豆にて五月二九日
- 港全七期E二 伊豆にて五月二九日 毎年開催六月二一日
- 港全八期E二 六月二一日
- 港全一二期E 五月二六日
- 港全二期A 新橋にて一月一〇日
- 港全二期E二 一泊旅行 九州へ 七月二〇日
- 港全二期C 三年ぶり 五月二七日
- 港全二期M 最近二年で三回 内二回は一泊旅行

※内容等お問い合わせは事務局までご一報下さい。

◇会報への原稿お願い

母校が閉校となり、今後は「同窓会ニュース」が会員親睦のテーブルになります。皆様からの声を聞き、ご意見・ご要望に沿って拡充を図ることが大事ではないかと存じます。転居連絡からクラス会、クラブ仲間のこと、恩師・級友の消息等また在校時の思い出、クラブ部活動や当時の周辺状況等々お寄せ下さるようお願いいたします。



総会風景

◇事務局からのお知らせ

◎会則改定による賛助金のお願い

平成一六年三月に最後の卒業生を迎え、入会金を徴収した後は収入が絶えることになるため平成一三年六月の定期総会に会則の改定を提案、可決され「卒業後五年を経過した会員は賛助金として年額二〇〇〇円を納入すること」になりました。

平成一四年度は八二四名、一五年度は七〇一名、一六年度は五六一名、本年度は八月現在で五一六名の会員から送金戴いており、なんとか昨年程度になることを期待しています。

賛助金の納入は毎年かとの質問があります。任意につき毎年でなくても結構です。但し現状は減少傾向にあり、より多くの会員の賛同をお願いする次第です。

※郵便局のATMを使えば

①土曜・日曜も振込みできます。

②ATMに同封の用紙をそのまま挿入すればOKです。

(手数料は同窓会負担です) 同窓生及び先生方の会員名簿の維持管理並びに同窓会ニュースの作成、発行を継続するために是非とも会員各位のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

母校記念誌等の在庫案内について

○創立五〇周年記念誌

平成八年一月三〇日大手町サングレイ会館で式典が開催された
○定時制閉課程記念誌(CD付)
平成一五年三月八日母校で式典、芝公園メルパルクでお別れ会が開催された

○閉校記念誌(DVD付)
平成一六年三月六日母校で式典、芝パークホテルでお別れ会が開催された

それぞれに同窓会が参加しており、記念誌の予備を購入しています。購入ご希望の方は頒布しますので事務局へご一報ください。なお

・第五六回卒業式、閉校式典及びフオーエバー愛宕(港工の集い)の当日の様相を撮影して、約四〇分に編集したDVDを作成してあります。

母校最後の様子をご覧になりたい方、クラス会等で活用できる方はご一報下さい。貸与又はコピーをお送りします。



都立港工業高等学校の卒業生への諸証明の発行について

閉校に伴い、卒業生への諸証明の発行事務は都立六郷工科高等学校において受け付けています。

〒一四四一八五〇六
大田区東六郷二一八―二
京浜急行「雑色」下車三分
Ⅷ〇三―三七三七―六五六五
ご不明の点につきましては、
東京都教育庁高等学校教育課
Ⅷ〇三―五三二一―一一一
へお問い合わせ下さい。

編集後記

夏の風物詩、蝉しぐれが静けさをかき消す区図書館。この片隅に在るパソコン・ルームでの編集後記に頭を捻る。

平成一七年度の定期総会も無事に終了しました。

一〇月に六郷工科高校、秋の六郷祭に同窓会行事として出展します。万障お繰り合せのうえ同窓会ブースにお出かけ下さい。ブースの展示内容に付いての感想と評価、そして率直なご意見など事務局宛にお願いします。

「港工ニュース」臨時号も加藤先生はじめ多くの方々のご協力とご支援のお蔭で発行できましたが、同窓生の近況スペースが少なく多くの方々の貴重な原稿の記載が出来ませんでした。深くお詫び申し上げます。次回第五号の港工ニュース原稿募集を行います。付きましては、随想文・挿絵・紀行文、ホーム・ページの感想等事務局迄お願い致します。

- 六期 (全) 龍 健治
- 一四期 (定) 安江弘吉
- 二二期 (全) 町山 茂

☆同窓会会務の連絡先について☆
住所変更の連絡、名簿内容の質問、同窓会ニュースへの寄稿、クラス会近況等々は全て下記へお願いします。

記

〒278-0036 千葉県野田市中野台鹿島町23-7
(株)クリーンジャパン内
港工同窓会 松岡 信之
(会計理事 港16期 S39. A卒)
TEL 04-7125-6808 FAX 04-7125-6851
E-mail : matsuoaka@minatoku.net